

# 取扱説明書

～ご使用いただく前に、本紙をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。また、本書はいつでもご覧になれる所に保管しておいてください。～

## ⚠ 使用上の注意(使用するにあたって下記の内容を必ずお守り下さい)

- ・対応座幅(座のシート幅) 340mm～460mm。
- ・ご使用の際は、テーブル、アームサポートにがたつきが無い事を確認して下さい。
- ・本製品の車いすへの取付、テーブル本体の着脱等の作業は、必ず駐車用ブレーキを掛け平坦な場所で行い、指等を挟み込まない様に注意して下さい。
- ・車いす使用者の乗り降りの際は、その都度テーブル本体の着脱を行って下さい。
- ・テーブル本体部が、本体後端より半分以上両側のアームサポートに載っていない状態で使用しないで下さい。テーブル本体が突然倒れるなど、けがをする恐れがあり大変危険です。
- ・各調節を行う際は、取り付いている締結部品をなくさないようにして下さい。また、調節後は、必ずがたつきの確認をして下さい。がたつきのある状態で使用しないでください。
- ・テーブル本体を取り付けたまま、車いすを畳まないで下さい。
- ・テーブル本体前端上には、重い物を載せたり、手をついたりしないで下さい。テーブルが外れ、けがをする恐れがあります。
- ・暖房器具に近づけたり、シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないで下さい。

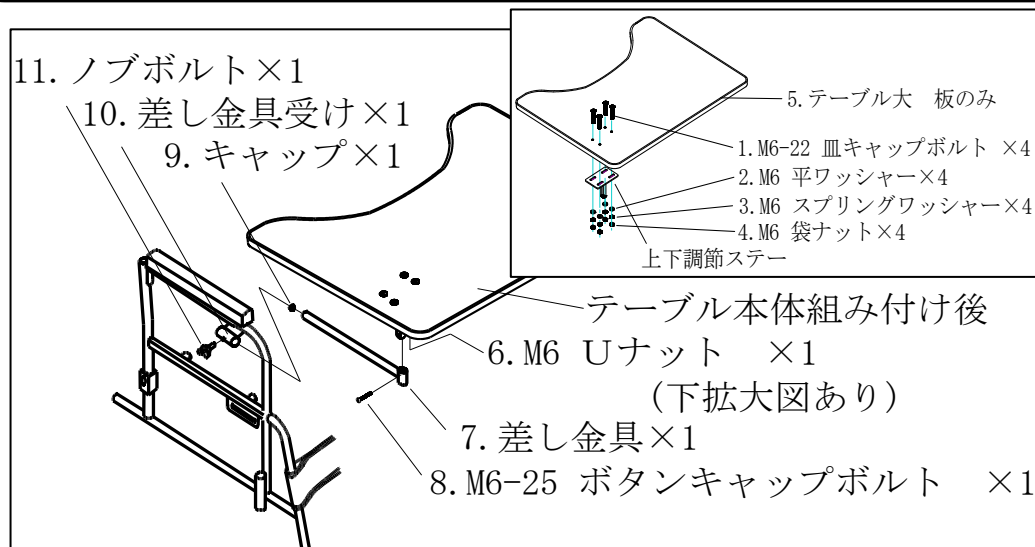


図.1 各部名称、及び数量

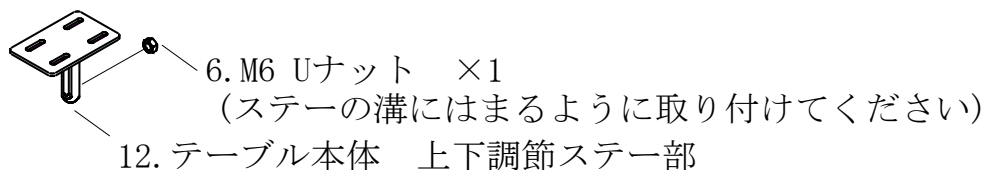
### テーブル差し金具受けの取付方法

- ①.アームサポート固定ボルトの前側を取り外します。ワッシャー、スプリングワッシャーは再度使用します。なくさないように注意してください。
- ②.パイプ差込口が車いすの外側になるようアームサポートパイプの下面に差し金具受けの凹み面を当て、①で外したアームサポート固定ボルトで共締めし取り付けます。

※アームサポート固定ボルトを締め付け後は、必ずアームサポートにがたつきがないか確認してください。がたつきがある状態では使用しないでください。また、過度に締め付けるとスプリングワッシャーが破損することがありますので注意してください。

### テーブルの取付方法

- ①.テーブルの差し金具を差し金具受けにはめる時は、テーブル本体がアームサポートに当たらないように軽く傾けて差し込みます。
- ②.テーブルをゆっくりアームサポートに載せます。このとき、ボルトを緩め上下調節、座幅対応(詳細裏面)を行い両アームサポートにテーブル本体が確実に載っていることを確認してください。
- ③.使用者の体に合わせて前後左右の調整をしてノブボルトで固定します。



# 調節手順書

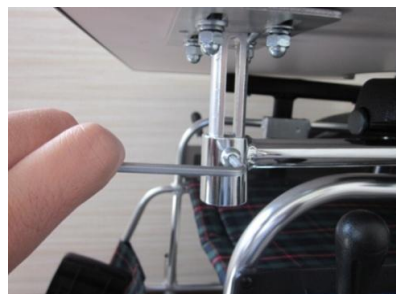
## 上下調節方法

使用工具：M4六角レンチ



不安定でテーブルが外れたり破損する恐れがある為、アームサポートとテーブル本体に隙間がある場合は、必ず上下調節をおこない、左右のアームサポートにテーブル本体が載った状態でご使用ください。

手順は以下に示します。



1. 差し金具横側のボタンキャップボルトを六角レンチで緩めてください。



2. テーブル本体をアームサポートまで下げ、アームサポート上面とテーブルがしっかりと接する高さに調節してください。

この時、ステーの反対側もしっかりとアームサポート上面に接していることを確認してください。

3. 調節後は、手順1で緩めた差し金具横側のボタンキャップボルトを六角レンチで締めて、テーブル本体が上下に動かないことを確認してください。

※アームサポート高調節機能付き車いすの場合は、左右のアームサポートを同じ高さに設定してください。

## 座幅対応調節方法

使用工具：M10スパナ、M4六角レンチ



不安定でテーブルが外れたり破損する恐れがある為、車いす本体の中心とテーブル本体の中心が合わない場合は、必ず座幅対応調節を行い、中心が合った状態でご使用ください。

手順書は以下に示します。



1. テーブル本体表の皿キャップボルトを六角レンチで固定しながら、ステー取付部の袋ナットをスパナで4箇所すべて緩めてください。また、取り付いていた締結部品は、再度使用しますので無くさないよう注意してください。



2. 車いす本体の中心とテーブル本体の中心が合うようテーブル板を横に移動させて調節してください。

調節後は、手順1で緩めたステー取付部の袋ナットを必ず締めて、テーブル板が動かないことを確認してください。

製造元

株式会社ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号